# VUCA時代における地方農業のこれから

農業生産法人株式会社 hototo　代表取締役　水上　篤

VUCAとはV：Volatility（変動性）、U：Uncertainty（不確実性）、C：Complexity（複雑性）、A：Ambiguity（曖昧性）の頭文字をとった造語である。新型コロナウイルスや台風などの疫病・災害、AIの急速な進化など、社会の変化を予測しづらい昨今、もはや将来がどう変化していくかは、全く予測できない時代になりました。農業に関しても、毎年の異常気象が当たり前になりつつあり、生産が非常に難しい環境となりました。それとは別に社会では、新素材の開発、量子コンピューターの発展、３Dプリンター、AI技術など、目覚ましい発展をとげています。ここ数十年で人間では追いつけないほどの科学の進歩が予想されます。人生120年の時代にも突入しております。

何を言いたいかというと、今までのビジネスモデルの延長線に未来はないのです。ここ数年、社会がどんな動きをするのかは私にもわかりません。しかし、数十年先、社会がどんな方向に動き、どんな形になっていくかは、なんとなく想像できます。そして、日本の義務教育がこのような時代に対応できる人材を育成しているかどうか常に疑問があります。社会にはたくさんの疑問があり、その疑問に自分なりに答えをもつことが重要な社会の到来です。暮らし方も、お金の事も、仕事の事も、家族の事も、もう一度自分自身で考え直す時が今のコロナ禍なのです。

私は、以前ニューヨークの外資系企業で働いておりましたが、考え直すきっかけを知人からもらい、10年前に地方で農業法人をスタートさせました。持続可能な方法を中心に、生産→加工→物流→販売など、すべてを自社で行うことで、地方の農業のソリューションを探してきました。

今では、自社開発室も持ち、機械の開発からプログラミングの自社制御盤までも作り始めています。地方は、自分なりの答えが出せれば試行錯誤の世界がたくさんあります。もちろん、予定調和でない、トラブルや不安定な環境にも多く遭遇します。しかし、それもすべて楽しみだと思えば、自分自身やスタッフの成長できる環境は、たくさんあるのです。

「これからの地方農業」この答えは、個人個人違う答えになります。是非、希望を持ち何か始めてみようという方は、やり方を考える前に地方に週１回でも行き、小さい１歩から始めてみてください。その小さい１歩は必ず、あなたが心の奥底で望む希望に向かって時を進めてくれます。毎日は淡々としており、変化もなく、見えづらい地方ですが、毎日毎日試行錯誤を繰り返し過ごしているうちに、あらゆる事ができるようになります。

簡単ではありませんし、時間がかかりますが、VUCA時代に安定できる「心と体と考え方」を体得できます。正しい答えはありません。あなた自身が感じる答えが、ぼんやり見え始めます。二元論ではありません。「いいか、悪いか」でなく、ぼんやりの中でバランスをとれるような、どんな事が起こっても柔軟に対応できる人と組織が出来上がると思っております。

（みずかみ　あつし）



農林中金総合研究所
https://www.nochuri.co.jp/